

美濃戸

会報第 52 号

2025 年 12 月発行

編集・発行

美濃戸高原連絡会

編集委員会

ホームページ

<http://www.minoto-jp.net>

事務局連絡先

NK-70 安藤 Tel 0266-75-3321

<目次>

世話人会報告:

◆2025 年度水道施設大規模修繕工事状況報告

お知らせ:

◆事務局より

◆サークルより: 稀少植物保護育成地へのご案内

会員寄稿

◆八ヶ岳ブルーと夜空双方を楽しめ、

夏の太陽光も遮るサンシェード作り

中村 敏昭 さん

インフォメーション

◆「連絡会新規会員」をご紹介ください

◆「会員名義変更・退会のご連絡」のお願い

◆ホームページのアイデア・ご意見募集中!

◆Facebook メンバー登録のお誘い

編集後記

世話人会報告

2025 年度水道施設大規模修繕工事状況報告

世話人 中村敏昭

8 月の連絡会総会でもご報告しましたが、FR 社は 2025 年度春の工事で積立金(地権者への請求額 1,052 万円余)を大きく上回る 2,075 万円余の工事費を投入し、送水管 394m、配水管 654m の他、付随機器の交換を実施してくれました(Y/NK 地区)。秋も一部工事を実施する予定とお伝えしましたが、工事会社とのスケジュール調整が合わず、降雪時期にも入ったために 2026 年度に延期されました。

従って今年度工事では TK 社が立てた当初工事計画(送・配水管総延長 9,500m)に対する竣工割合がほぼ 50%に届いたこととなります。が、今後の工事距離見込みは予測がつかない处でもあります。FR 社の水道施設大規模修繕工事に対する見解は、この工事を管理会社の責務として早期に終了させたい考えですので、来年度の工事予定がどうなるかも期待したいところです。

2026 年新年には 2025 年の管理業務全般(水道工事の他、別荘地内の簡易舗装や施設整備、立木の伐採や植樹、新規購入者の誘致、茅野市が進めるバス通りの改修舗装工事など)が報告されますから、その内容を待ちたいと思います。



お知らせ

事務局より

事務局長 安藤 晋二 (NK-70)

連絡会会員の皆様、会報 52 号をお届けいたします。

今年の総会で、連絡会は会員の親睦をはかり且つ FR 社との協調を図る方向へと転じました。

本当に長い時間が掛かりましたが、これから本来の目的に向かって前進するのみです。連絡会は会員の皆様の厚い信頼の基に活動してまいりました。この信頼こそ財産で、これこそがこれからの前進のエネルギーになるものと確信しております。

会員の親睦をはかる意義から、今会報に投稿いただいた「山野草が好き♡美濃戸」と仰るサークルを連絡会に登録し、些少なから補助させていただきました。皆様のなかでサークル活動をしている、もしくは計画中の方がおられましたら、些少なから補助させていただきますので事務局までご連絡下さい。

FR社との協調については、詳細は未定ながら、来年夏にFR社・連絡会との懇親会を計画し、会員の方のご好意で、当別荘地内区画で開く予定であります。詳細は来年の総会開催のお知らせにてご連絡いたします。8年ぶりに開く懇親会になります、是非ご都合を調整いただきご参加下さい。

最後に会の現状は11月現在会員数218名、会費納入率81.2%です。例年通り未納の方にはご連絡差し上げます。なお8月の総会にて懸案の会費1000円への値下げ変更は承認されました。

サークルより

稀少植物保護育成地へのご案内

皆さん、美濃戸池の山側にある稀少植物保護育成地をご存知ですか。

ご存知でも入ったことがない方が多いのではないのでしょうか。そこには美濃戸に自生し、絶滅が危惧されている稀少な植物が育成・保護されています。この育成地は、今から13年前(2012年9月)に元オーナーであった林さんら有志の皆さんで、当時の管理会社Tよりこの湿地エリアを借り受けて、防獣ネットを設置するなど整地し、開発や鹿などの食害などで絶滅しそうな稀少植物をそこに移植しながら保護育成し、今日の「稀少植物保護育成地」を迎えています。

昨年、管理会社フォレストリゾート(株)により保護育成地の防獣ネット等を整備していただいたのを機に、再度、美濃戸別荘地のオーナーの



皆さんに保護育成地の整備と稀少植物の保護育成に向けた協力をお願いし、改めて「山野草が好き♡美濃戸」という会を結成させていただきました。

今シーズンは、草むしりやヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク、エンビセンノウなどの絶滅危惧種に指定されている植物の個体数等を調査し、結果を県に報告しました。さらに美濃戸の自生植物の定植などを行い、今では20数種の植物を育て観て楽しむことができるようになりました。また、皆さんに安心して草花を観ていただけるよう、老朽化してきた3つの架け橋を加留部さん(13年前の保護育成地造成時より協力いただいています)に製材いただき、会員の皆ですべて新しく作り替えました。



【主な草花】リュウキンカ、クリンソウ、サクラソウ、ヒメシャガ、フシグロセンノウ、ヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク、オトコエシ、

エンピセンノウ、コキンレイカ、クマガイソウ、シキンカラマツ、レンゲショウマ、カモメラン、クマガイソウ、タマガワホトトギス、アケボノソウ、ツリフネソウ、ソバナ、ミゾソバ など

これから寒い冬に向かい、植物たちは休眠に入ります。来年の春には、休眠から目覚めるもの、また、新しく生まれるものを皆さんで楽しみにしていただければと思います。

現在 10 名ほどで活動していますが、より多くの皆さんに「山野草が好き♥美濃戸」に参加ご協力いただけますようよろしくお願いいたします
(お手伝いご協力いただける方は、下記までご連絡ください)。

<連絡先>

青木 正美 A-31 Tel 090-3440-6179

(ショートメッセージにて)

e-mail: masami0408nonohana@gmail.com

板谷 明人 K-7 Tel 080-4146-0322

e-mail: akiitaya@gmail.com



会員寄稿

八ヶ岳ブルーと夜空双方を楽しめ、

夏の太陽光も遮るサンシェード作り

N-18 中村 敏昭

遡る事、昭和 52 年 (1977 年) 頃になりますからもう 48 年も前になります。義父が美濃戸に建てた山小屋を時々利用できるようになり、

それ以来都会の喧騒を離れて大自然の中で憩うことができる幸福感に浸っています。

当時は「モーレツ社員」全盛の高度成長時代で、現在のような週休 2 日の取得などは無理な時代でしたが、徐々に月 1 回の土曜休みが月 2 回と増え、毎週土日の休日取得が普通になって以来、美濃戸をベースに家族で信州各地を探訪したり、古民家レストランを探ってはランチを楽しみ、また、友人たちと八ヶ岳登山やテニスなどスポーツに勤しむことで、青春時代から壮年期 (今は後期高齢者) の今日まで人生を謳歌することができました。中でも若い頃から趣味の日曜大工 (DIY) は、騒音をあまり気にせずに工作できる好条件下の環境で、大いに創作意欲が高まったものでした。旧山小屋ではリビングとキッチンとの間仕切りカウンターやオーディオキャビネット、整理筆筒などを作りましたが、2008 年に新山小屋に建替えた後に暫くして 2 年がかりで設計・製作したものは、屋外テラス上面の「サンシェード (天幕)」作りです。想定アイデアから完成図面 書き上げまで随分時間を掛けた苦心の作でした。ここでこの工作内容を少しだけご披露させていただきます。

設計のポイントは、①上面のシェードは既製品で賄うこと ②シェードは開閉式 (手動) として、昼間の青空が見られるとともに夜間には満天の星空も観測でき、また夏季日中の直射日光を遮ることもできること ③海浜リゾート風に水平に張ること ④3 枚のシェードは同時に開閉できること ⑤製作費は抑えること、の 5 点でした。ただ、シェードは水平に張ることで降雨時は雨水による重量影響 (たわみ) を受けないようにするため透水性の素材にしました。従って、降雨時の屋外バーベキューは当然 NG になりました。

下記は用意した部材・金具などです。

- A. 3m×2mのシェード3枚 (タカショー)
- B. 2×4材5本 (2.3mの長さ)
- C. 3.5m×4本のワイヤー (太さ2mm)
- D. ターンバックル4個
- E. ワイヤークリップ8個
- F. カラビナ (小型アルミ) 20個
- G. 結束ベルト、コードストッパー、各20個

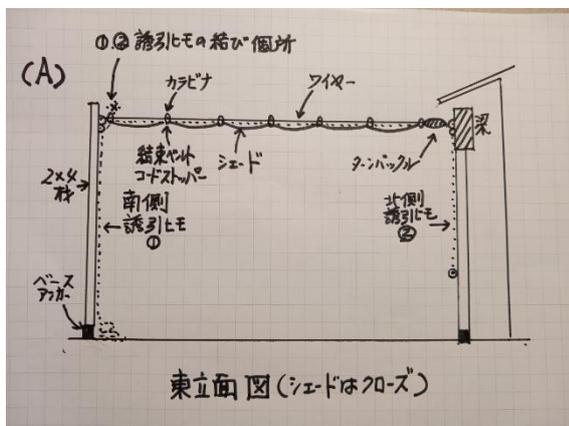
- H. ワイヤー・ターンバックル支持用金具 8 個
- I. 誘引紐 (綿、8~10m8 本) 及び支持金具 8 個
- J. 2×4材ベースアンカー金具 8 個、
及びアンカーボルト
- K. キシラデコール (防水の白ペイント)

以上が主要部材ですが、A のシェードは通常四隅にしかハトメ穴が開いていないので、長辺3mの中間に50cm間隔で5か所のハトメ穴を工具で開けました。ここで全体の構成図面を簡単なイラストと写真でご紹介します。もし、テラスにこのようなサンシェード作りをされたい方のご参考になれば幸いです。

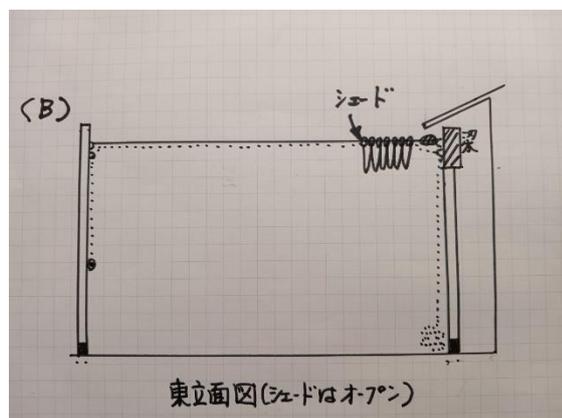
(添付イラスト図面4点と写真3点)

(図面)

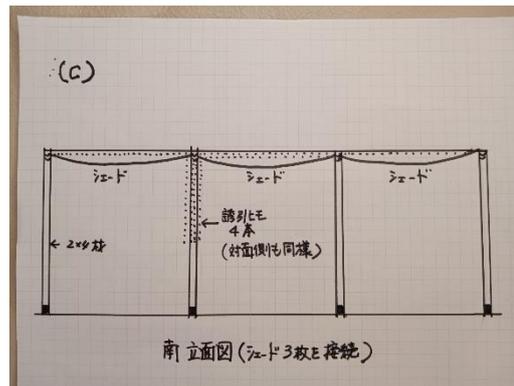
(A) 東立面図 (シェードは覆っている図。開け閉めのための誘引紐の基点は南側からの引っ張り用 (覆う) も北側からの引っ張り用 (開ける) も①②の個所で結んでいます)



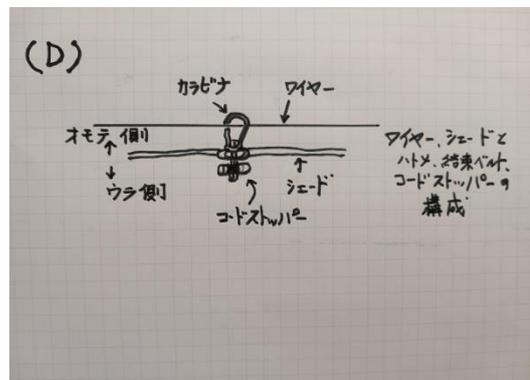
(B) 東立面図 (シェードを開けた図)



(C) 南立面図



(D) ワイヤー、カラビナ、シェード、コードストッパーなどの構成図



(写真)

(E) サンシェードが開いている



(F) サンシェードが覆っている



(G) 主要部品 (ターンバックル、ワイヤー、カラビナ、ワイヤークリップ)



インフォメーション

「連絡会新規会員」をご紹介します

現・連絡会会員の皆様の声に加え、新たにこの自然あふれる憩いの地を求めて来られた方々からも貴重なご意見をいただき、より良い別荘地の環境づくりに役立てたいと考えます。お近くに新たな同好の士を見かけられましたら、是非連絡会のご紹介と、入会資料お届けのお誘いをお願いいたします。

事務局やお近くの世話人にお声掛けいただくか、下記 E-mail でお知らせください。資料等を早速手配いたします。

◆「会員名義変更・退会のご連絡」のお願い

諸般のご事情により**名義変更または退会**される場合は、**メールか電話で事務局宛にご連絡**ください。名義変更の場合は「名義変更届」をメールまたは郵送させていただきますので、ご返信・ご返送ください。連絡会の円滑な運営のために、ご協力よろしく願いいたします。

美濃戸高原連絡会事務局

TEL : Tel 0266-75-3321 (安藤)

E-mail : contact@minoto-jp.net

◆ホームページのアイディア・ご意見募集中

ホームページ「八ヶ岳 美濃戸こもれびの森」(minoto-jp.net) をさらに魅力的に、さらに使いやすくするためのアイディアを募集しています。「こんなページがあつたらいいのに…」 「ここをもう少し変えて欲しい…」 というアイディア・ご意見がありましたら、ぜひ、お知らせください。どんな些細なことでも OK です。

アイディア・ご意見は「お問合せ・ご意見メール」からお送りいただくか、お近くの世話人の方にお伝えください。

◆Facebook メンバー登録のお誘い

美濃戸高原連絡会の Facebook ページがあります。プライベートグループの設定で、連絡会の会員やご家族など、登録されたメンバーだけがグループのメンバーや投稿を見ることができるので安心です。投稿は、美濃戸や周辺のなにげない写真や興味のあること、ちょっとした情報や質問などなんでも OK です。**ご参加いただける方は、HP 左側一番下の「お問合せ・ご意見メール」にメールアドレスをお知らせください。「招待状」をお送りいたします。みなさんの参加をお待ちしています。**

編集後記

一年ぶりにまた会報をお届けできそうで一安心です。運動公園で満開の桜を楽しんだと思いきや、北海道でも40℃に届くかの酷暑。茅野や富士見に買い物に下りるだけで眩暈がするような陽気に、美濃戸に滞在できる

幸せを実感しました。今号では、そんな快適な美濃戸暮らしの工夫の一端を中村さんにご披露いただきました。



(茅野市運動公園 4/19)



(徐々に進むバス通り補修工事)



(ハヶ岳ガーデンプロジェクト 8/24)



(美濃戸の秋 T地区 11/3)



(ハヶ岳初冠雪 11/3)

年々短く感じられる秋もそこかしこで輝きを見せてくれました。またそんな中、バス通りの補修工事も実践農場から鉢巻道路の区間、学林から太陽館上の区間で徐々に延伸しています。驚かされたのは11/3の初雪。加えて11月中に3回も降雪がありました。

さて、真冬日も増えてきました。世間ではインフルも流行中です。皆さま暖かくして健康に2026年をお迎えください。ハヶ岳ブルーの雪道で、新緑の芽吹きの木立の下でまたお目にかかるのを楽しみに。

(NK-1 野々村)

(HP などにお寄せいただいた写真を転載させていただきました。)